

ぶらり龍・るみちゃんさんぽ

「るみちゃんさんの趣味は？」と聞かれると困ってしまうんですね。スポーツは苦手だし、飲むことじゃ、あまりに苦がない。

「あつ、でも本を読むのは好き。図書館に行ったり、街の本屋さんに行ったり、Caでゆったり本を読むなんて、至福のひとつです。だからお隣り土浦の古書倶楽部にもよく行きますよ。そつしたらね、日経新聞朝刊に「日本列島古本屋巡りの旅」の記事が載っていて、何と！リブラの2階の古書店のことが紹介されていたの。ええ、人知を超えた大量の品揃えだつて！灯台下暗し、これは行かねばと思つたら、助っ人現る！街のさまざまな広報活動をされているチャーママさんが、ご紹介してくださることに。ラッキー！という訳で久しぶりに伺ったリブラ。2階に行ってみると「うわー！すげえ！」（乙女の言葉か？）見渡す限りの古書の海、レコードもある。聞けば4軒分の本屋さんの数とか。3人の店主の方の共同経営だそうですが、今回は守谷から通っていらつしやる片倉さんに、お話を伺いました。

リブラさんご縁が出来たのは15年ほど前、初めは催事に出店していて、それから徐々に売り場を広げられ、現在の規模になったのは7、8年前からだそうです。来店者は60代の男性が多いそうで、毎日のように来る方もいるとか（おじさん達の

『古書店巡り』



古書モール リブラ店 10:00 ~ 19:00
問い合わせ ☎ 090-2635-6212

「お客様が探されていた本を見つけた時は嬉しいですね。出店してくれる仲間が多ければ、もっと色々な本が置けるのですけれど、茨城の関連の本も増やしたいですね」と優しい口調で話してくださつた。

るみちゃんも手伝いたい…本好きだし…月1〜2回だったらやれそうだな（オイオイ）コラボで、朗読会したり（勝手に夢見ないこと）いいなあ。

どんな本があるのか多すぎて把握しきれないとか、ぜひ皆さん、半日かけて行ってみてください。宝の山から思い出の一冊が見つかるかもしれませんよ。となると一日がかりになるかも知れませんが。

新宿に全長約8mのダンボールSLが出現！

—リアルサイズダンボールSL-4 龍ヶ崎市展を開催—

8月6日から12日まで、新宿パークタワー（東京都新宿区）で「リアルサイズダンボールSL-4 龍ヶ崎市展」が開催されました。

このダンボールSLは、市民団体「龍ヶ崎機関車推進協議会」が発案し、市民や流通経済大学のボランティアの皆さんが約3カ月かけて完成させたもの。全長7.7メートル、横幅2.2メートル、高さ3.4メートルで、1965年まで関東鉄道竜ヶ崎線を走っていたSLを実物大で再現しました。

今回の展示会では、SLの展示とともに、龍ヶ崎市のアクセス環境の良さ、充実した子育て環境、特産品・名物などを紹介し、来場者に龍ヶ崎市の魅力をPRしました。



ダンボールSLは、実際に運転席に乗車でき、汽笛も鳴らすことができるため、来場した1,700人を超える多くの家族連れが、機関士気分を楽しみました。

安心安全のまちづくりに防犯カメラを

このほど、市に「茨城県企業防衛対策協議会 龍ヶ崎地区推進協議会（赤塚仁会長）」「龍ヶ崎ライオンズクラブ（松野演之会長）」から、地域の安全・安心なまちづくりに役立てて欲しいと『防犯カメラ、レコーダー』が寄贈され、赤塚仁会長から中山市長に目録が手渡されました。

寄贈された防犯カメラは、すでにJR佐貫駅東口エスカレーター付近に設置・運用されており、犯罪抑止や犯罪の早期解決に大きな効果を発揮することが期待されています。



中山市長に目録を手渡す茨城県企業防衛対策協議会龍ヶ崎推進協議会・赤塚仁会長（中央）と役員の倉沢南洲さん

—茨城県企業防衛対策協議会 龍ヶ崎地区推進協議会・龍ヶ崎ライオンズクラブが寄贈—

撞舞の無事終了を市長に報告

—舞男の谷本仁さん大石浩司さんら—



中山市長に今年の撞舞の報告をする舞男の谷本仁さんと大石浩司さん、龍ヶ崎鷺職組合・撞舞保存会の皆さん

今年も市の一大イベント「八坂神社祇園祭」の最終日で、市内外から集まった約13,000人の観客を魅了した国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞」。主役を演じた舞男の谷本仁さんと大石浩司さんが、8月21日に龍ヶ崎鷺職組合・撞舞保存会の皆さんと共に市役所を訪れ、中山市長に今年の演技を無事に終了したことを報告しました。

風が強く、小雨もばらつく不安定な天候の中でも、いつもどおり冴えのある演技を披露した谷本さんと大石さん。報告は、当日の演技での苦労話のほか、年々観客が増え、注目度が高まる撞舞の今後の展開などを話題に、終始和やかな雰囲気で行われました。

船上レストランで「コシヒカリ」をPR

—料理長や料理研究家から大好評—

市では、内閣府認定公益社団法人全日本司厨士協会東京地方本部と連携し、市内産農畜産物のPR活動を行っています。7月19日には、東京湾のクルージングレストラン「シンフォニー」で、「ふるさと龍ヶ崎ブランド農産物」の認定を受けている関口文夫さん（大徳町）のコシヒカリをPRしました。

関口さんのコシヒカリは「第3回すし米コンテスト・国際大会」で「最良」評価の特Aランク賞を受賞し、全国に認められたおいしいお米。同レストランの総料理長や参加した料理研究家からも「食味が良く、今後活用したい」と大好評でした。



コシヒカリの特長を説明しながらPRをする関口文夫さん（右）・川村光男副市長（左から2人目）